

崎原地区 (鹿児島県大島郡伊仙町)

トランスバーラの畑かん利用による増収効果と肉用牛増頭への貢献(栽培面積拡大)

畑地帯総合整備事業(担い手支援型) H27~R6



畑かん効果の検討会(実証ほ設置は徳之島町) M氏のトランスバーラほ場のかん水風景

主な整備事業

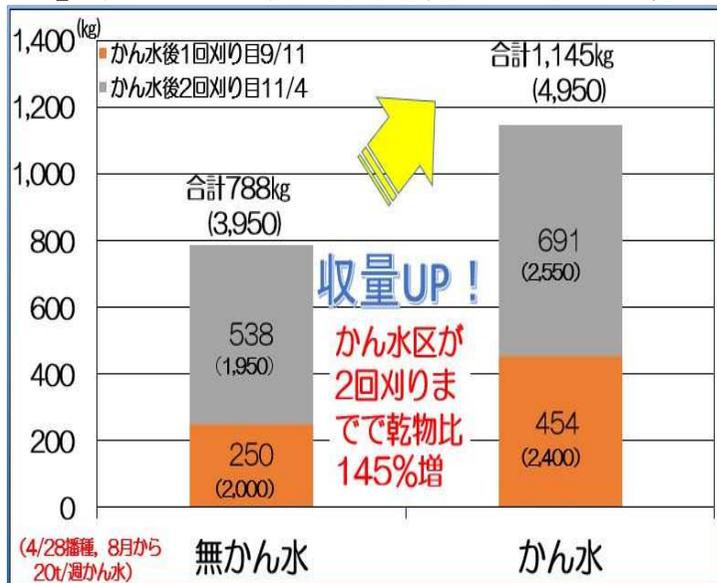
○国営事業【ダム等整備】

国営かんがい排水事業
(H9~H29:徳之島用水地区)
※H28年6月から通水開始

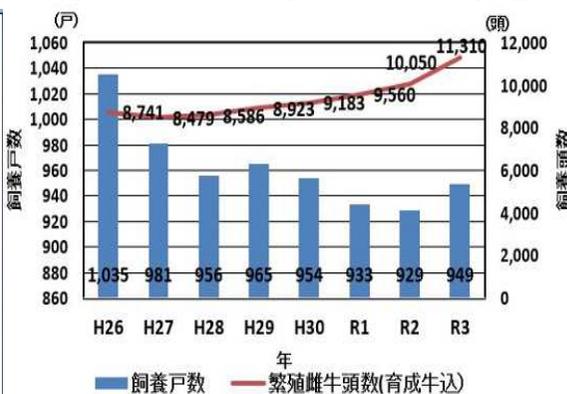
○国営附带県営事業【畑かん施設整備】

県営畑地帯総合整備事業
(担い手支援型、一般)
(H27~R6)

【トランスバーラにおける畑かんの効】



【徳之島の肉用牛戸数・頭数推移】



【トランスバーラ栽培面積の推移】

年月	令和2年3月		令和4年3月	
	栽培面積(a)	戸数(戸)	栽培面積(a)	戸数(戸)
合計	3,331	23	13,496	126

【農家の声】

- 地域で推奨されるトランスバーラは、植付時に特に水を必要とするため、植付は梅雨時期前に限られていたが、畑かん設置により、**通年での栽培面積拡大と定着促進及び増収効果が図られている。**
(栽培面積:設置前R2年0a→設置後R4年50a)
(年間収穫回数:設置前5回→設置後6回)
- 自給飼料の増収等により、**計画的な肉用牛の増頭が実現している。**
(飼養頭数:設置前R2年38頭→設置後R4年65頭)
- 周辺農家にも積極的に水利利用効果を波及したい。



肉用牛農家M氏夫妻



トランスバーラの給与状況

R2年の実証結果:梅雨明け後2回の乾物収量合計()は生草収量(kg/10a)
*データ:R2実証ほ(徳之島町ほ場)調査結果